# 命まもり

# ケアに手厚いまちづくりを

新型コロナウイルス感染症に対する緊急事態宣言が3月7日まで延長される中、川西市では陽性者が458人（2月14日時点）に達し、まだまだ予断を許さない状況が続いています。

日本共産党議員団は、昨年2月から「新型コロナウイルス感染症対策への緊急要望書」を4回に渡って市長部局と教育委員会に提出。健康増進部と情報共有等の懇談や、新年度予算に対する要望書への回答等について、それぞれの部局と懇談を行いました。

引き続き、全力をあげて市民の命とくらし最優先で取り組みます。

市長に要望書提出

## 北部の医療を守ろう

### 「民意」「市の計画」に反し「今井病院移転案」を選択

今井病院移転案に係るパブリックコメントには、77人144件の意見が提出。「北部の医療を守りたい」「住民の安心・安全を確保したい」と切実で真剣な声や願いが書き込まれました。同時に、「現病院の存続を求める署名」が5059筆、「今井病院移転か診療所建設かの2者択一を迫られるのならば診療所建設を求める署名」が2629筆提出されました。

新型コロナウイルスの感染拡大、医療崩壊等が報じられる中、「**改めて現病院の存続を強く求める**」「今井病院か診療所かではなく、どちらも必要だ」「２者択一ならば診療所だ」という意見がほとんどでした。

「今井病院案に賛成」は、わずか2件のみだったにもかかわらず12月24日の議員協議会において、越田謙治郎市長は、民設民営の今井病院の移転案を進めることを選択・発表しました。

### 市は、公設民営の北部診療所計画を白紙に…

24時間の一次救急（内科）をなくす、整形外科や外科、2開業医の誘致など予定していた外来機能は激減。総合医療センター（キセラ）との連携用シャトルバス運行を見直す等、地域医療の更なる後退に対して**市民から憤りや不安の声**が聴こえてくるのは当然です。

今井病院は、リハビリ病院（回復期・慢性期ベッド）のため、川西病院（13診療科・二次救急・急性期ベッド）の替わりにはなりません。開業医が少ない北部から地域医療の拠点をなくす計画は再考すべきです。

### パンデミック真っ只中、大きな自然災害が予想される中 北部を二次救急の空白地にするな！！

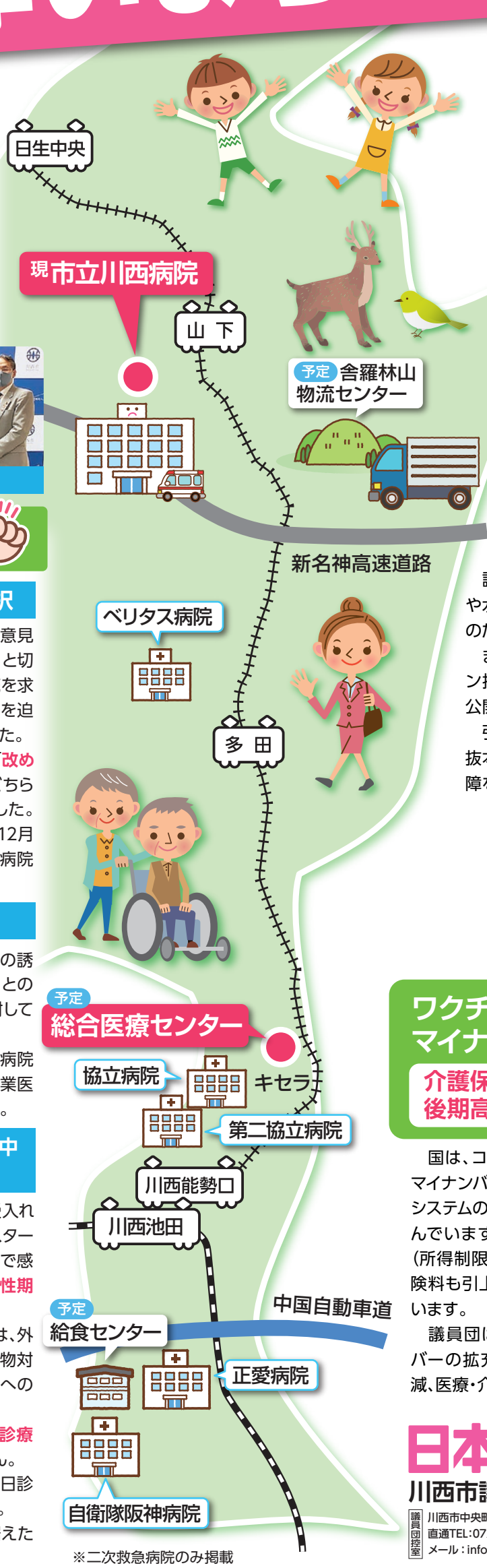
11月にコロナのクラスターが発生した病院では、救急搬送の受入れを休止。結果、12月の救急搬送の5割が市外搬送になる等、クラスターによる感染爆発が医療崩壊につながります。ウイルスは人の移動で感染拡大、変異を続けます。**病院の統廃合・偏在化やベッド削減（急性期ベッド163床減）の計画推進は無謀**です。

市が建設中の総合医療センター（405床、指定管理者・協和会）は、外来患者が1日900人、職員（約1000人）の駐車場がありません。建物対策は行われていますが、六価クロムの土壌汚染や1.3mの浸水地への建設に対しての懸念は払拭できていません。

新病院は、人間ドック等の健診がなく、保健センター内の**応急診療所が北部へ移転する**こと等、市民に正確な情報が伝わっていません。

今井病院案では、市有地の無償貸与・小児科（平日午前診）や休日診療（15歳以上）等への補助金など新たな財政負担が危惧されます。

現病院（1983年築・新耐震基準）の存続・再利用等、将来を見据えた安心・安全なまちづくり、**北部医療の確保**こそ行うべきです。




※二次救急病院のみ掲載

## PCR検査 医療体制の拡充を

### 市の保健所復活を！

市に保健所が無いため、「情報が遅い」「市内の感染状況がわからない」「検査はどこで受けられるのか」など、不安の声が寄せられています。

議員団が要望した総合相談窓口の開設や水道料金の減免、市内事業者の感染予防のための支援などを実現しました。

また、健康増進部と懇談を行い、ワクチン接種の取り組みや、感染状況などの情報公開の改善を求めました。

引き続き、市の保健所復活、PCR検査の抜本的な拡充と医療支援、営業と生活の保障を改善するよう求めています。

健康増進部との懇談

## ワクチン接種にもマイナンバー?!

### 介護保険料が引上げ 後期高齢者の窓口負担も倍化

国は、コロナ感染症対策として、国民が望まないマイナンバーカードに様々な事業も紐付けし、電算システムの導入や人件費などに多額の税金をつぎ込んでいます。その一方で、75歳以上の後期高齢者（所得制限有）の医療費窓口負担を倍化し、介護保険料も引上げるなど高齢者いじめの政策を進めています。

議員団は、市民や国・県議団と連携し、マイナンバーの拡充を止め、コロナ禍で困った人の負担軽減、医療・介護を確保するよう求めています。


日本共産党
川西市議会議員団議会報告 2021年春季号


議員団控室
川西市中央町12-1 川西市役所6F
直通TEL：072（740）1268／FAX：072（759）1811
メール：info@jcp-kawanishi.org
共産党川西 検索

# みんなの願いつなぐ

日本共産党

## 市内どこでも安心の子育て

### 安全・おいしい中学校給食を

長年待ち望んでいた中学校給食が2022年9月（2学期）からスタートすることになりました。議員団は、自校調理方式を求めてきましたが、PFI事業者（民間委託）が川西南中学校第二グラウンド（久代）に4100食の給食センターを建設し、維持管理運営を行うことになります。

議員団は、小学校と同等の安全でおいしい給食が提供できるよう、交通渋滞、災害、新型コロナ感染症等のリスクに対し対策を求めています。

### 子どもの医療費中学卒業まで無料に

議員団は、全会一致で可決した「中学卒業まで子どもの医療費無料化を求める請願」の早期実現を求め続け、ようやく2021年7月より実施することになりました。（所得制限有り）

医療費助成制度の無料化によって子どもが早めに受診できるようになり、病気の重症化が防止されます。

議員団は、兵庫県下41市町の内、12市町まで広がっている18歳までの無料化に引き続き取り組みます。

### 近くで通える保育・教育施設を

市は、幼稚園と保育所を統廃合し幼保連携型認定こども園の整備を進めています。市内で最も保育・教育施設が多い場所に建設し、定員を増やさないことからも待機児童の解消にはつながっていません。

議員団は、一極集中の計画は止め、どこに住んでいても近くで安心して保育、教育を受けることができるよう強く求めています。

### 20人学級で豊かな教育を

コロナ禍の分散登校を経験し「授業がよくわかる」「理解ができた」と子どもたちから感想が寄せられました。豊かな教育は、少人数学級だからこそ可能です。

教育委員会への要望書提出


北野のり子

TEL 080-3134-0618

ブログ 北野のり子 検索


## 安心して住み続けるために

### 生活支える市営住宅に

12月議会において、市営住宅、改良住宅、再開発住宅など計1007戸の管理運営を3年間で約3億2千万円かけ、指定管理者である（株）東急コミュニティーへ委託することを決めました。

議員団は、管理運営する住宅に付随する公園・遊具などの施設について算定根拠等を質問、ずさんであることを明らかにし、福祉に繋げる市営住宅サービスを守る立場から反対しました。4月から委託開始されるため、公営住宅課が廃止予定です。

住民が安心して住み続け、市職員が培ってきた住民との信頼関係と住環境の継続を求め続けます。

### 公共交通を守ろう

大和団地で進めようとしていたオンデマンドモビリティサービス実証実験は、「バスを残して欲しい」と願う多くの住民の声により頓挫しました。

コロナ禍で外出が減る中、電車やバスなど公共交通にも大きな影響が出ており、市民の生活・外出を支える交通支援施策が必要です。

議員団は、公共交通の便数確保と、小・中学校に通う子どもたちや免許を返納される高齢者への交通費補助のため力を尽くします。


吉岡けんじ

TEL 090-1142-4778

ブログ 吉岡けんじ 検索


## 市民の声届けよう

### 少人数学級実現をPCR検査体制の拡充を

国へ意見書提出

議員団は、市民から寄せられた請願や要望は貴重な政策提言と受け止め、積極的に紹介議員等になり取り組みを進めています。

6月議会、緊急事態宣言時の臨時休校を受け、学校現場での感染症対策はもとより、子ども達の学びと育ちの保障や心のケアに十分取り組めるよう、計画的な教職員定数改善と少人数学級の推進、義務教育費国庫負担制度を堅持することを求める意見書を賛成多数で提出しました。（反対・中曽議員）

12月議会では、コロナ感染者数が増加する中、医療・教育・福祉現場といった社会生活を維持する上で欠かすことのできない施設等での集団感染を防止するため、医療・教育・福祉施設等職員がPCR検査を適時受けられるよう、国の責任で早急に体制を整備することを求める意見書を、全会一致で提出しました。

黒田みち

TEL 090-9987-7909

ブログ たんぽぽだより 黒田みち 検索

### 市役所開庁時間が変更になります

4月1日から 9:00～17:00

議員団は、開庁時間の変更によって他市町との連絡・連携、窓口業務等、市民サービスが後退しない対策を取るよう市に申し入れています。